

平成28年度 菊川水防災協議会 開催概要

【目的】

今後の気象変動により発生頻度が高まると予想される施設能力を上回るような洪水に対応するため、菊川流域の沿川2市(菊川市、掛川市)、静岡県、国等が連携・協力して減災のための目標を共有し、**ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築する。**

【開催概要】

日 時:平成28年8月1日(月) 13:30~14:30
 会 場:菊川市役所 201・202会議室
 出 席:菊川市長、掛川市長、袋井土木事務所長、
 静岡地方気象台長、浜松河川国道事務所長
 議 事:①「水防災意識社会再構築ビジョン」について、
 ②菊川水防災協議会規約(案)について、③「水防災意識社会再構築ビジョン」
 に基づく菊川流域の取組方針(案)について、④今後のスケジュールについて
 決定事項:5年間で達成すべき目標(洪水の到達が早いことや、窪地状の地形の特徴を
 踏まえ、菊川で発生しうる大規模水害に対し、**「水防災を意識して命を守る」**
「迅速かつ確実な復旧を行う」ことを目指す)を決定



協議会開催状況

【主な発言内容】

- ・菊川市長:今回の取り組みは当然進めていかななくてはならず、実効性のあるものにしていかなくてはならない。国土交通省には適切に流域全体のハード対策を進めていただかなくてはならないし、市としてはソフト対策を重点的に進めていく所存である。
- ・掛川市長:本川の水位上昇に伴う支川(内水)氾濫箇所について明確にし、適切な対策を行っていく必要があるが、近年の異常降雨、洪水等の多発を踏まえた具体的な計画とすることが重要である。ただし、排水対策にも限界があると考えられるため、避難行動についてしっかり啓発していきたい。水防工法についても民間建設業者の重機の活用など協定の締結や計画の策定等を進めていかななくてはならないと考える。
- ・袋井土木事務所長:本川の整備に応じて、順次適切に支川整備も進めていく所存である。
- ・静岡地方気象台長:内水氾濫に繋がる危険な箇所を把握しておくことが重要である。
- ・浜松河川国道事務所長:近年の超過洪水に対応したハード、ソフト対策の全てを同時に進めていくことは困難であるため、短期、中期、長期の3段構えで、適切な整備を進めていきたい。避難確保のための、各機関が連携したタイムライン策定も急務であり、その他の取組も含めて県、市の皆様と協力して進めていきたい。

協議会委員



菊川市長



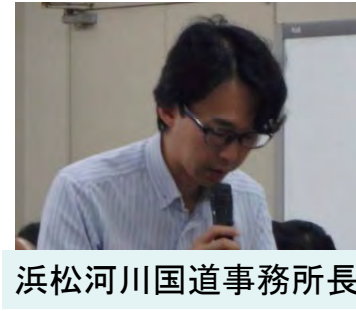
掛川市長



袋井土木事務所長



静岡地方気象台長



浜松河川国道事務所長